

# 防災マップの使い方 ～地震編～

固危機管理課 ☎(582)1119 ㊚(583)5066

近年、大規模な地震や大雨による水害など自然災害が全国で発生しています。「災害はいつでも起こりえる」と考え、自助・共助・公助の連携による「災害への備え」をすることが大切です。

令和3年3月に全戸配布した新しい防災マップは、国・県が公表した降雨災害を想定した浸水区域図や、本市に影響の大きい地震の想定震度マップ・液化化しやすさなどを掲載した改訂版です。

改訂版防災マップに掲載された「備え」のポイントをシリーズで紹介していきます。

**本** 市は、災害の少ない住みやすい都市とされていますが、近年でも阪神・淡路大震災(1995年)、大阪府北部地震(2018年)など、本市や県に影響の出た地震が発生しています。

琵琶湖西岸断層帯地震や南海トラフ地震など、今後発生する可能性のある大地震も想定されています。

防災マップでは、地震の仕組みや被害想定のほか、地震の被害を軽減する自宅周辺や家財配置などの注意点、地震で火災が発生した時の消火方法など、日ごろからの心構えなどを紹介しています。

防災マップは、市役所と地区会館で配布しているほか、市ホームページでもご覧いただけます。



ホームページ



2016年熊本地震の被災地

## 地震が発生した時の行動ポイント

◇転倒した家具や飛び散ったガラスでけがをしないよう、落ち着いて行動しましょう。

◇自身と地域の安全のため、原則として徒歩で避難しましょう。

